

vol. 01

令和元年度 第1号
(年間4回発行 通巻第151号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

2019年版

中小企業白書・小規模企業白書のポイント

特集2

令和元年度 中央会事業の概要紹介

特集3

令和元年度 徳島県人事異動

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 01

令和元年度 第1号
(年間4回発行 通巻第151号)

特集
1

2019年版
中小企業白書・
小規模企業白書のポイント 2

特集
2

令和元年度
中央会事業の概要紹介 4

特集
3

令和元年度
徳島県人事異動
(徳島県商工労働観光部一商工政策課・
企業支援課・新未来産業課) 8

組合クロースアップ 第1回

徳島県木竹工業協同組合連合会 10



有限会社天野鉄工所 12

組合ホットニュース 16

- ◎徳島県中古自動車販売商工組合
徳島の盲導犬を育てる会に寄付
- ◎徳島電気工事協同組合
子ども110番の車に指定
- ◎令和元年度徳島県表彰！



情報連絡員レポート 18

令和元年5月の景気動向



青年部コーナー 19

◎青年部活動トピックス



女性部コーナー 21

◎女性部活動トピックス



中央会トピックス 23

- ◎モデル組合に認定しました。
徳島ビルメンテナンス協同組合／鴨島電気工事協同組合
- ◎令和元年度 通常総会開催
- ◎令和元年度 中央会事務局組織・新入職員のご紹介

中央会事務局職員

十人十色

29

◎組織支援課 係長 坂東 崇志



お知らせコーナー 30

◎IT導入補助金について

編集
後記



表紙絵

作者:徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル:「大浜海岸」

県南の海岸線は、美しいリアス式の海岸が多いのですが、その所々に穏やかな砂浜があります。その一つである、ここ大浜海岸は、ウミガメの産卵地として広く知られています。1967年に大浜海岸のウミガメ及び産卵地の名前で国の天然記念物に指定されました。毎年5月から8月にかけて、アカウミガメが産卵のために上陸します。産卵の時間帯は夜が多く、昼間の事例も稀にあります。ウミガメの保護を目的に、5月20日から8月20日までの期間は、砂浜及びその周辺道路で規制が敷かれるほか、保護監視員による活動も行われています。白砂の海岸は、南国詩情あふれる景勝地としても有名で、日本の渚百選に選ばれました。



特集 1

2019年版 中小企業白書・ 小規模企業白書のポイント



中小企業庁から2019年版中小企業白書・小規模企業白書が発表されました。

同白書の骨子では、令和時代の中小企業・小規模事業者の活躍に向けての取組みとして下記の内容が列記されております。

- 中小企業・小規模事業者にとって、人口減少・少子高齢化が最大の課題。
- 前回は、人手不足に焦点。今回は、新時代を視野に入れ、①経営者の世代交代と、②中小企業・小規模事業者に期待される自己変革に焦点を当てる。
- ①経営者の世代交代については、事業承継・経営資源の一部承継・多様な創業について分析・解説。
- ②自己変革については、構造変化に対応する挑戦やそれを支えるステークホルダーとの互恵関係について分析・解説。
- 具体的な事例を豊富に紹介し、経営者目線に立った分かりやすい内容とする。

なお本誌では、そのポイントを紹介します。詳細については、中小企業庁ホームページでご参照ください。

2019 年度中小企業白書・小規模企業白書の要点

①経営者の世代交代

【経営者の世代交代】

1. 親族内承継の支援措置は大幅に前進。親族外承継により新事業の展開も期待される。
 - これまで、法人向け、個人事業者向けに、贈与税や相続税の負担をゼロにする事業承継税制を措置。親族内承継の支援措置は、大幅に前進。
 - 今後は、親族外承継も一層推進することが重要。旧経営者の負担が軽減されるほか、新経営者による新たな事業展開も期待される。
2. 廃業時に経営資源を引き継ぐことは、旧経営者・起業家の双方にとって有益。
 - やむを得ず廃業する場合でも、経営資源の一部を有償で譲渡すれば、経営者は、廃業費用の一部を賄うことが可能。
 - 事業を素早く立ち上げようとする場合、他者から経営資源を引き継ぐ形での起業は有効であるが、実際に引き継いだ者は限定的。

●起業促進の観点からも、部分的な事業承継として、経営資源の引継ぎを進めることが必要。

3. 比較的簡単に起業できるフリーランス・副業による創業を促進することも重要。

●クラウドなどのIT技術の発展や働き方改革の進展によって、フリーランスや副業など創業の裾野が広がるなど、個人が比較的簡単に創業できるチャンスが到来。

●まずはフリーランス・副業で起業し、その後、事業を拡大するような事例も存在。起業の一形態として、フリーランス・副業による創業を促進することも重要。

②自己変革

【構造変化への対応】

4. デジタル化社会では、IoT・AIを活用した、生産性向上の取組が重要。

●デジタル化が進展する社会にあっては、中小企業にとってもIoT・AIを活用することが有益。

●データを活用し、業務効率化や売上増につながる取組を促進することが必要。

5. 中小企業は大企業にとって魅力的な連携相手。研究開発の促進も重要。

●顧客ニーズの多様化や変化のスピードが早まる中、自社だけで革新的な商品やサービスを開発することは困難となり、オープン・イノベーションの必要性が高まっている。

●小回りの効く中小企業は、大企業からも研究開発の連携相手として期待されている。大企業の連携を含め、中小企業の研究開発への取組を促進することが必要。

6. 地方の中小企業こそ、域外・海外の需要を取り込むことが必要であり、それは多くの地域で可能。

●サービス業を中心に、人口密度が低い地域に立地する事業者ほど、生産性が低い傾向。人口減少が進む地方では、域外の需要を如何に取り込むかが課題。

●訪日外国人が急増する中、外国人のニーズに応じた商品・サービスを提供し、海外需要を取り込むことで、地方でも高い成長を実現することが可能。

【防災・減災の取組】

7. 防災・減災対策を進めるため、関係者（サプライチェーン、自治体、金融機関、等）も巻き込みつつ普及啓発を推進することが必要。

●防災・減災対策を行った企業ほど、短期間で売上の回復を達成。

●一方、規模が小さい事業者は、防災・減災対策の取組が必ずしも十分でない。「何から始めれば良いかわからない」とする事業者が多く、大企業等の関係者の協力を得て普及啓発を推進することが必要。

8. リスクに見合った災害保険への加入を進めることが必要。

●多くの中小企業は、損害保険や火災共済に加入。

●他方、水災に対応していない保険や、一部しか補償されない保険への加入が半分以上。

●リスクに見合ったカバー率の保険加入を進めることが必要。

引用：2019年版中小企業白書・小規模企業白書概要（中小企業庁）

2019年版中小企業白書・小規模企業白書は、中小企業庁のホームページで公開されております。詳細については、中小企業庁ホームページでご参照ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>

特集 2

令和元年度 中央会事業の概要紹介

中央会では、組合事業の活性化と健全なる組合運営が図れるように、
本年度も引き続き組合の方々に利用していただくための各種事業を展開しております。

事業の活性化、見直したい

組合・組合員企業経営サポート事業

1) 専門家相談事業(3回)

組合からの要望等により、組合が抱えている法律、税務、技術、経営、労働、コンピュータ等に関する専門的な問題について弁護士、公認会計士、中小企業診断士、専門コンサルタントに依頼して指導を行っております。
〔連携推進課〕

2) 組合特定問題研究会(6回)

組合や業界における問題点やテーマを専門家による解説を受け、それについて集団で議論・研究することにより、問題点の共有や解決を図ります。
〔連携推進課〕

3) 組合員企業パワーアップサポート事業(1組合又は1企業)

協同組合等で共同施設事業を行う工場団地、卸団地、ショッピングセンターや商店街振興組合などの組合員企業を対象に、専門家、中央会内中小企業診断士、当該経営者等でチームを組織し、業界・市場の動向や現状、工場や小売店舗内外の状況、経営コンセプト、工場・店舗運営、商品構成、レイアウト、顧客アプローチ等について様々な角度から検証を行い、当該企業・店舗における強み・弱み、課題から具体的な取り組みまでを提案し、魅力とより強みのある企業や小売店舗の実現に向けて本事業を実施します。
〔連携推進課〕

スキルアップ事業

(2組合)

中小企業を取り巻く環境は、規制緩和、技術革新の進展等様々な変化が生じ、厳しい環境変化に直面しています。このような環境変化に対応するための技術革新への取り組みは今後ますます重要となっております。

このような状況に鑑み、本事業により組合や未組織グループの技術向上の取り組みをスムーズにし、環境変化への積極的な対応を図ることを目的としています。
〔組織支援課〕

組合管理者等講習会

(1回)

組合は中小企業振興の要請から種々の税法上の特典が与えられており、これらの特典は各種税法に及び、積極的に取り組むことが必要であります。特に組合会計は一般事業会計処理と異なり組合特有の会計処理が義務づけられています。これらに対応する決算・税務手続と定款上義務付けられている各種積立金の処理の方法をスムーズに進めるため、専門家を招聘し決算実務講習会を開催します。

〔組織支援課〕

小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業

(原則 1 組合)

組合や組合員の「経営基盤の強化」「生産性の向上」を目指した「既存の共同事業の改善」「新たな事業開発」のためのフィージビリティ・スタディ（実現可能性調査）の実施、さらにはその結果を具体化するための事業の実施についての助成を行います。

〔総務課〕

小企業者組織化特別講習会

(3 組合)

小企業者の組織化、小企業者組合の運営向上等を図るため、小企業者及び小企業者組合関係者を対象とした講習会を開催します。

〔総務課〕

組合事務局交流会

(1 回)

組合事務局専従役職員を対象に、中小企業施策の普及と組合運営上必要な法律・会計などの知識の向上と情報交換を行うことを目的として交流会を開催しています。

〔連携推進課〕

取引力強化推進事業

(2 組合)

中小企業・小規模事業者が連携して実施する共同宣伝、ブランド構築、組合員の事業・企業紹介等のための組合ホームページやチラシの作成等、取引力強化促進を図るために実施する取り組みを支援します。

〔総務課〕

モデル組合認定支援事業

(2 組合)

共同事業活動を活発に行い、業績が優良で、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図ります。

〔総務課〕

ものづくり等企業連携交流事業

この事業は、ものづくり補助金に採択された企業を対象として、更なる企業力のレベルアップを図るため、経営革新計画や経営力向上計画の策定支援セミナー、工業技術センターや徳島大学等との交流会、ものづくりの展示会への共同出展をセットとした事業であり、徳島のものづくり企業等の経営力強化を図ることを目的としています。

〔連携推進課〕

研修会・講習会等を開催したい

組合青年部活動促進支援事業

徳島県経済の次代を担う若手経営者・後継者の育成とそれら若手経営者・後継者が所属する組合青年部における事業活動の促進を図るとともに、各々の組合青年部においてその活動を牽引するリーダー間の交流の場を設け、青年部活動を運営する上での諸課題への対応や異業種間・地域間の連携等について討議することを目的とします。

〔連携推進課〕

組合活性化研修助成事業

(4 組合)

中小企業が組合等の連携組織を通じて、中小企業にとって特に重要性の高い問題（技術、新製品開発、新分野進出、情報化、マーケティング、品質管理、労働等）について、その解決や新たな事業展開を図るための研究が必要不可欠であるが、独自で研修等を行うことは極めて困難な状況にあります。このため組合が組合員を対象として実施する研修事業に対し助成を行います。

〔組織支援課〕

組合等連携組織体での女性活躍推進事業

この事業は、中小企業組合等に関わる女性役職員、女性経営者等の交流や研鑽の場を設け、更なる活動の輪の拡大を目指すとともに、資質向上を図ることを目的として、全国レディース中央会主催の全国フォーラムへの参加やセミナー・交流会等を開催します。

〔連携推進課〕

情報化に取り組みたい

中央会 IT 研修会事業

（本会会員及び組合員企業を対象：15名程度）

近年、SNS のユーザー数は増加を続け、SNS による情報発信により、企業と消費者の距離を縮め、販路拡大及び集客・売上の増加にも繋がっている事例が多く見られます。このような状況に鑑み、本事業により組合等が国内の主要 SNS（LINE、Facebook、Twitter 等）を活用し、より集客に有効なノウハウやインターネット上のリスクや対策を学び、ビジネスに必要な人材を育成することを目的として、実践的技術研修会を実施します。

〔組織支援課〕

防災力・危機管理能力を強化したい

中小企業組合等 BCP 企業力強化支援事業

徳島県内の組合及び組合員企業に対して、企業が災害や事故などで被害を受けても重要業務をなるべく中断させず、中断した場合はできるだけ早急に復旧させる事業継続（BC（Business Continuity））への取り組み普及と事業継続を達成するための事業継続計画（BCP（Business Continuity Plan））の策定を支援します。BCP を策定することにより、企業における災害・事故発生時の早期復旧と徳島県経済への影響の低減を図ることはもとより、防災・危機対応に取り組んでいる企業としての信頼と顧客・取引先からの安定供給の要請や供給責任を果たすことを目指します。それにより、徳島県地域企業において事業継続への取り組みを助け、徳島県における高信頼社会の実現を図ることを目的としています。

〔連携推進課〕

外国人技能実習生共同受入事業を適正に実施したい

外国人技能実習生受入企業適正化推進事業

団体監理型で外国人技能実習生を受け入れている実習実施者（受入企業）に対して社会保険労務士等の専門家を招聘し、外国人技能実習生受入制度並びに関係法令の講習会を開催します。また、受入組合の事務局強化の観点から、各監理団体の監理責任者を対象とした講習会を開催します。

〔組織支援課〕

外国人技能実習制度適正化指導事業

外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等（監理団体）並びに組合員（実習実施者）による不正行為の防止に努めるため、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家並びに中央

会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善を図ります。
〔組織支援課〕

官公需を受注したい

官公需総合相談センター事業

(随時)

中小企業の官公需対策を充実させるため、官公需に係る発注情報、落札情報、競争入札参加資格申請受付情報等について情報収集を行うと共に、地域の業界団体や中小企業等に情報提供を行っています。
〔組織支援課〕

環境保全活動に取り組みたい

中小企業環境保全活動支援事業

「環境への負荷の少ない循環型社会づくり」を推進するため、エコアクション 21 地域事務局の認定を受け、県内中小企業の環境への取り組みを支援します。〔環境保全活動の相談窓口の設置、環境保全活動に関するセミナーの開催〕
〔連携推進課〕

人材確保のため業界や自社のPRに取り組みたい

大学と業界団体が協調した中小企業の人材定着支援事業

徳島県内の各大学等（就職担当者）が業界団体を通した傘下中小企業において仕事内容を実感・体感し、中小企業に対する現状認識を深めることを目的に、中小企業の仕事現場への視察を実施する。
〔連携推進課〕

海外販路開拓に取り組みたい

中小企業組合等地場産品海外販路開拓支援事業

(1 組合)

徳島県内の組合を対象として、海外市場で徳島県産品の販路拡大の取り組みを支援します。実施事業内容として、中央会が事務局となり県内中小企業組合のための海外展示環境の整備を実施・支援することにより、県内地場産品の海外市場への販路開拓及び海外展開を支援します。
〔総務課〕

令和元年度の事業実施対象組合がすでに決定している事業もありますので、実施希望される組合は、中央会各事業担当課までお問い合わせください。

特集

3

令和元年度 徳島県人事異動

徳島県商工労働観光部
商工政策課 企業支援課
新未来産業課

新体制

	(入) 新職名	氏 名	旧職名
商 工 労 働 観 光 部	変更なし	黒下 耕司	商工労働観光部長
	商工労働観光部付 (観光協会派遣)	朝日 隆之	危機管理部長
	商工労働観光部 副部長	春木 尚登	商工労働観光部次長 (観光国際担当)
	商工労働観光部副部長 (工業技術センター所 長兼務)	藤川 隆	県民環境部付
	変更なし	住友 信二	商工労働観光部次長 (産業人材育成セン ター所長兼務)
	商工労働観光部次長 (観光国際担当)	香川 和仁	南部総合県民局 保健福祉環境部長
	変更なし	林 博信	商工労働観光部付 (徳島市派遣)
	変更なし	玉田 直彦	商工労働観光部付 (商工会連合会派遣)
	変更なし	浦土井邦人	商工労働観光部付 (発明協会派遣)
	商工労働観光部付 (とくしま産業振興機 構派遣)	村上 正浩	企業支援課長
	商工労働観光部付 (とくしま産業振興機 構派遣)	長谷川尚洋	地方創生局地方創生 推進課長
	変更なし	新居 和憲	商工労働観光部付 (物産協会派遣)
	変更なし	日下 敏嗣	商工労働観光部付 (観光協会派遣)
	変更なし	安田 亨	商工労働観光部付 (国際交流協会派遣)
	商工労働観光部付 (とくしま産業振興機 構派遣)	森本 巖	工業技術センター研 究部長
	変更なし	甚上 敏宏	商工労働観光部付 (とくしま産業振興 機構派遣)
	商工労働観光部付 (職業能力開発協会派遣)	大西 博文	長寿いきがい課 副課長
	変更なし	森 拓	商工労働観光部付 (関西観光本部派遣)

	(入) 新職名	氏 名	旧職名
商 工 政 策 課	商工政策課長	勝川 雅史	総合政策課 上席政策調査幹
	商工政策課副課長	山名由起子	にぎわいづくり課 副課長
	変更なし	中原 優江	商工政策課課長補佐 (政策調整担当) (リーダー)
	商工政策課課長補佐 (団体・振興担当) (リーダー)	三好小百合	教育委員会事務局 教育政策課課長補佐 (働き方改革・人財・ 発信担当)(リーダー)
	商工政策課課長補佐 (金融担当) (リーダー)	鳥海 祐司	商工政策課主査兼係長 (金融担当) (リーダー)
	変更なし	津田 嘉秀	商工政策課係長 (政策調整担当)
	商工政策課係長 (政策調整担当)	桂 佳世	商工政策課主任
	商工政策課係長 (金融担当) (信用保証協会派遣)	柏原いつか	商工政策課主任 (信用保証協会派遣)
	商工政策課主席 (政策調整担当) (再任用職員)	増田 浩之	商工政策課総務専門 主任
	商工政策課主任	片山 裕喜	秘書課主任
	商工政策課主任	若松 英昌	男女参画・人権課主任
	変更なし	加守 寛士	商工政策課主任
	変更なし	新見 知広	商工政策課主任主事
	変更なし	大下 翔	商工政策課主事
	商工政策課主事 (商工会連合会派遣)	山田 彩芽	地方創生局市町村課 主事
	商工政策課主事	布川 名子	
	商工政策課主事	臼木 瑛梨	南部総合県民局地域 創生部〈美波〉主事

新体制

	(入) 新職名	氏 名	旧職名
企 業 支 援 課	企業支援課長	小原 広行	総合政策課政策調査幹 (農林水産担当)
	企業支援課副課長	宮内 計典	県民文化課課長補佐 (企画総務担当) (リーダー)
	企業支援課課長補佐 (情報通信産業担当) (リーダー)	前田 隆司	西部総合県民局地域 創生部〈美馬〉課長 補佐 (県民生活・総 務担当) (リーダー)
	変更なし	岡崎 仁美	企業支援課主任専門員 (商業振興・経営支 援担当) (リーダー)
	企業支援課課長補佐 (立地推進担当) (リーダー)	新居崎美鈴	企業支援課課長補佐 (立地推進担当)
	変更なし	岡田 淳	企業支援課課長補佐 (商業振興・経営支 援担当) (とくしま 産業振興機構派遣)
	企業支援課課長補佐 (立地推進担当)	安丸 悟	農林水産基盤整備局 生産基盤課課長補佐 (農地防災担当)
	企業支援課係長 (情報通信産業担当)	矢口奈央子	企業支援課主任
	変更なし	川上 武士	企業支援課係長 (商 業振興・経営支援担 当) (とくしま産業 振興機構派遣)
	変更なし	清水 靖士	企業支援課主任
	変更なし	松永 和也	企業支援課主任
	変更なし	川野弘一郎	企業支援課主任
	変更なし	三崎 富生	企業支援課主任
	企業支援課主任	高木 良明	商工政策課主任
	変更なし	荒木 宣雄	企業支援課主任主事 (とくしま産業振興 機構派遣)
	変更なし	高谷 勝普	企業支援課主任主事
課	変更なし	藤川 貴大	企業支援課主任主事 (とくしま産業振興 機構派遣)
	企業支援課主事 (とくしま産業振興機 構派遣)	大上真莉子	長寿いきがい課主事

	(入) 新職名	氏 名	旧職名
新 未 来 産 業 課	変更なし	松本 修一	新未来産業課長
	変更なし	香川 敏昌	新未来産業課新技術 活用担当室長
	変更なし	栞原 大輔	新未来産業課副課長
	新未来産業課課長補佐 (ものづくり産業担 当) (リーダー)	谷 寛文	とくしまゼロ作戦課 課長補佐 (災害医療・ 民間連携担当) (リー ダー)
	新未来産業課主査兼 係長 (ものづくり産 業担当) 総合政策課 主査兼係長 (産学官 連携担当) 兼務	有澤 隆文	新未来産業課主査兼 係長 (ものづくり産 業担当)
	新未来産業課主査兼 係長 (ものづくり産 業担当) (とくしま産 業振興機構派遣)	庄野久美子	農林水産総合技術支 援センター高度技術 支援課主査兼係長 (園芸担当)
	変更なし	片岡 敬視	新未来産業課係長 (新成長産業担当) (リーダー)
	新未来産業課係長 (LED・ロボット産業 担当) (リーダー) 総 合政策課係長 (産学 官連携担当) 兼務	井藤 正人	総合政策課係長 (政策創造担当)
	変更なし	阿佐 豪洋	新未来産業課主任
	新未来産業課主任	吉田 智紀	新未来産業課主任 (とくしま産業振興 機構派遣)
	変更なし	小林 優太	新未来産業課主任主 事 (とくしま産業振 興機構派遣)
	変更なし	森 陽子	新未来産業課主任主事
	新未来産業課 主任主事	西本 真也	環境指導課主任主事
	変更なし	太田三紀彦	新未来産業課主事 (とくしま産業振興 機構派遣)
	新未来産業課主事	折原 里佳	東部県土整備局 (徳島) 主事

本会は、多種多様な業種の組合等が会員となっていていただいています。各組合がその特徴を活かし日々活動が続けており、今後の組合活動のご参考になるよう、会員の皆様方の仲間を取材し、紹介していきます。

徳島県木竹工業協同組合連合会

新商品の開発を通じて、 業界全体の発展と地域貢献を目指す！

■ 地場産業の振興を図る組織

徳島県は、木材の生産地として古くから知られ、これを利用した製材や木製品工業は基幹産業として重要な位置を占めてきました。徳島県木竹工業協同組合連合会の前身の徳島県木竹工業連合会は、昭和33年5月に設立され、会員の親睦と協調融和を図り業界の振興発展を期すため、各種事業に取り組み、昭和30年代前半においては、木竹連合会組合員企業の総生産額は40億円に達しました。

特に徳島産の鏡台は全国需要の4割強の生産量を誇り、戦後急速な発展を遂げ、新趣向を業者間で凝らし、堅ろう・優美さで全国有数の産地である静岡県を圧倒した時代がありました。昭和50年代に入り、消費志向の変化や消費者の多様化、産地間の競争激化、大企業の進出等の諸問題への対応を対応すべく、木工業の飛躍と連合会の基盤を強固なものにするため、昭和53年1月に現在の徳島県木竹工業協同組合連合会に改組しました。

木竹連合会では各地で行われる見本市・展示会に組合員企業が製造した鏡台・テーブル・たんす・洋家具など多種にわたり紹介しています。

なお現在総生産額は減少傾向にありますが、組合員企業は技術向上に努め、より付加価値の高い家具の製作に尽力しています。



暮らしをデザインする家具

■ 徳島の職人の技術を結集した AWAブランドの立ち上げ

昨今、消費者のライフスタイルの変化による婚礼用家具の需要減少・住宅作り付け家具の増加、安価な海外商品の台頭により厳しい状況となるとともに、価格競争が激化しています。

このような厳しい状況を打破するには、価格で勝負するのではなく、価値の高い商品の開発を行うことが重要であるとの考えに至り、厳しい現況を打破するため、平成19年度から本格的に「徳島の家具ブランド」を立ち上げる活動を始めています。

ブランドは「AWA」とし、商品開発コンセ

プトを「徳島の創造性の高さを人々の心に訴えかける『わびさびの家具』」として、長期の商品開発プロジェクトに取り組んでいます。

開発された商品の特徴は、徳島の職人しか作ることが出来ない、品質が高く高度な技術を有する商品となっており、「現代的でシンプルな無駄のないデザインの商品」「加工が細部まで行き届いた商品」「大量生産に向いていない商品」など飽きのこない・落ち着いた・末永く使える商品づくりを目指しています。



ジャバラ扉を備えた家具

特に見本市等でジャバラ扉を備えた家具を展示した際には、バイヤーからこの技術を活用し、仏壇の扉をジャバラにして欲しいとの要望や百貨店からの問い合わせがあるなど、徳島の独自の技術は、高く評価されています。

なお商品の購買ターゲットとしては、商品の高度な技術と品質を理解していただいている、本当に良いものを知っている方に商品を提供していくこととしています。

他方、商品の良さを知ってもらうための販路開拓としては、見本市・展示会への出展、東京のアンテナショップ等への展示を行っており、現場で顧客・バイヤーの生の声を聞き、商品に反映し、改良を加え、納得のいく完成形商品を目指しています。

またこのような技術を結集した商品づくりには、ブランド化を押し進める経営者とデザイナーと従業員が一体化した活動が重要であり、毎年試行錯誤を繰り返しながら、作成する対象商品を絞り込み、着実に、快適な空間の実現のための家具製造に取り組んでいます。

■ 業界の将来を見据えた今後の活動

これからも徳島の木工業が発展していくためには、消費者に安心安全で高品質な家具を提供し、市場において徳島の家具の信頼性を高めることが求められています。加えて家具はアート、ファッションと言われるほどデザインが重視されている状況に適応していくことが必要で、そのためには、組合員企業各社が能力を発揮し、技術向上に務め、より付加価値の高い家具を製作することが求められています。

このような状況の下、木竹連合会は、今後も引き続き家具産地徳島、そして徳島家具の魅力を発信するために各組合企業がそれぞれ技術力・品質力・デザイン力などでレベルアップできるように、地場産業総合サポート事業、販売促進事業、後継者育成事業、コントラクト事業等各種事業を展開していくこととしています。

組合プロフィール

徳島県木竹工業協同組合連合会

住 所：〒770-0868 徳島市福島一丁目8番22号

電 話：088-623-0405

FAX：088-625-5365

会長名：布川 徹

業 種：家具製造業

組合員数：2 組合
(所属員 19社)

設立年月日：昭和53年 1 月 4 日



会長 布川 徹氏



有限会社 天野鉄工所

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第18回目は平成25年度からものづくり事業に取り組まれた『有限会社天野鉄工所』様をご紹介します。同社は、市場のニーズに合わせた設備投資を積極的行うことで、多種多様な機械加工の依頼に対応できる体制を構築されました。

この度は、天野敬三社長と奥様の天野多栄子取締役役にお話を伺いました。

1 御社の沿革について、まずお聞かせください。

昭和45年9月に先代の父（天野一美）と徳島工業高校を卒業した私（天野敬三）が徳島市北田宮で食品プラントなどの修理業を個人創業しました。しかし修理の仕事は、月に10日程度しかありませんでした。その時取引先の機械業者から「機械加工が出来れば仕事はある。旋盤の使い方を教えるから購入しないか。」との誘いを受け、昭和50年に旋盤を1台購入しました。これが現在の機械加工につながる礎となりました。その後、汎用フライス盤を導入し、6面加工を始めました。更に、県内鉄工所では当時第1号と言われたNCフライス盤、その後のマシニングセンター2台の導入で、プレートの穴あけ加工の効率化に成功。このことで、精密部品加工分野に参入でき、受注が拡大しました。

平成6年に一大決心しマリンピア沖洲工業団地への移転と同時に門型加工機を導入し、大型機械加工にも挑戦してきました。平成15年以降は門型5面加工機によって6面体の5面を一度に加工することが可能となり、より複雑な形状の部品を精密加工することで、他社との差別化

が実現できたと自負しています。

弊社の設備について、とくしま産業振興機構様が作成したパンフレットやホームページに掲載して頂いており、そのおかげで、営業活動をしていないのに県外から年間2～3社の問い合わせがあり、受注に繋がっています。



本社工場



天野敬三社長と奥様の天野多栄子取締役役

2 御社は平成25年度からものづくり事業に取り組まれており、事業で取上げたテーマを拝見しますと、箱物加工を中心に経営資源の蓄積を行っているようですが、加工対象は広範囲に及びます。これらの中で最も印象深いテーマについてその理由等を踏まえてご説明いただけませんか。会社のコンセプトあるいは社長自身の考え方に影響を及ぼしたことがありましたらお聞かせください。

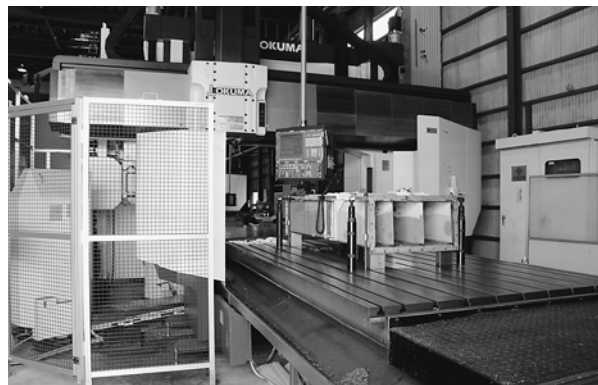
「ものづくり補助金」については、取引先の鉄工業者様から情報を得、同補助金を積極的に活用することで、弊社の加工技術の問題点の解消や、技術力アップにつながり、新しい分野へ挑戦する足がかりとなりました。

特に印象深いテーマは、平成25年度と平成28年度です。

平成25年度には「環境・エネルギー機械部品の受注拡大に向けた横中ぐりフライス盤の導入」に取り組み、東日本大震災復興事業の土砂排出用コンベア部品加工において、加工手順の簡素化、納期縮小、加工単価の削減により、技術者として復興支援をさせて頂きました。

平成28年度には「AI 門形5面5軸加工機による航空機部品加工とIoT化による生産性の向上」に取り組み、同事業で5軸加工に挑戦。特に5軸プログラムデータの作成に苦労はしましたが、高剛性・高精度・複雑立体部品を効率的に加工し、従来品の生産性を向上させることができました。

設備投資をすることで何よりも嬉しかったことは、その度に県外の顧客が1社ずつ増え、弊社の機械加工だけでなく、材料、溶接、仕上げ処理まで依頼され、協力会社や工業団地内で一括して受注できるようになり、徳島の受注・製造技術力の向上に微力ではありますが、尽力で



門形5面5軸加工機オークマ MCR-A5CII

きたことです。

そして、世の中の流れの変化を見極め、失敗を恐れずに設備投資による近代化を進めたことの大切さを実感しています。

3 以前の機械加工では〇〇技能士何級といったような、汎用工作機械での熟練者が会社を支えていたところがありました。しかし、NC、CNC、CAD/CAMから、IoT、AIといったようなデジタル化の伸展によって情報処理の手法が加工の分野にも入ってきました。このあたりの影響について、人材教育を含めてお聞かせください。

弊社では、機械加工の資格だけでは通用しないと考えております。有資格者は高度な技術を有する一方でプライドも高く、自身の過去成功体験に固執する傾向があり、新しい技術や創意工夫への関心が低いように感じられます。

弊社は、資格取得の推進よりもデジタル化を重視した「ヒトと機械の総合的技術力の向上」を目指す観点から、未経験者の従業員を積極的に採用しています。

弊社の加工品は、同じ加工は二度とありません。経験や資格の有無に関係なく、仕事の工程を理解するのに5年、機械加工ができるようになるのに10年かかり、それができてやっと技術力を向上させる段階へと進むことができます。

これほど時間をかけて人材を育成することで、従業員の評価は、取引先から指名がかかり

加工依頼される程、高い技術力を有すると評価していただいています。そして、その技術力を全従業員へ浸透させるために熟練者を軸として、ヒトからヒトへの技術の伝承にも力を入れています。

一方、働き方改革を受けて、今まで個人まかせだった工具の選択、加工条件、カッターローテーションなど基本項目を統一し共通化することで、担当者が不在でも他の従業員が機械を使えるよう従業員の多能工化に取り組んでいます。加工技術セミナーは特に行っていませんが、仕上がった製品を見ると従業員の能力がわかります。個々の成長度を見極めて階段を昇るように指導します。また、ミスは明日の技術への蓄積と考え、根気強く指導しています。

昨年からはエンジニアとして女性を雇用しました。全くの素人からの出発ですが、繊細さ、根気強さには新たな発見があります。女性が働きやすい職場の構想を練り、女性エンジニアの求人と育成にも力を入れています。

4 家電・情報機器、自動車産業等のグローバル化、金型加工の海外流出、現地生産・調達の動きなど、産業構造は大きく変化しており、機械加工もまたこのような動きの中にあると思います。今後、徳島の機械金属業界が発展していくためには、どのようにしたら良いかお聞かせください。

弊社の部品加工は、先に述べたように分野に捉われない一品ずつの何でも屋ですが、業種で分けると弱電から印刷機関連へ、そして車・チャンバー関連へと仕事の内容が順次変遷しています。徳島には機械関連の大企業が少ないので、県外の仕事がスムーズに受注できるような交通網の充実と高速料金の低額化、工業団地を作る高度化事業を実現してほしいと思っています。



横中ぐり盤 東芝機械 BTD-100.R2

5 社長はインターンシップやアルバイトで若い人とふれ合う機会が多いようですが、その効果、若者の反応等についてお聞かせください。

ものづくりを志す阿南高専や徳島大学の学生、留学生を、これまで30人以上アルバイトとして受け入れてきました。「加工の現場を知ること、加工しやすい設計、加工できない設計を理解してほしい。」「日本を留学先に選び徳島へ来てくれた留学生を支援したい。」との強い思いからです。

卒業する際には必ず送別会をします。その時、学生に対しては「社会で一生懸命頑張って、いつか仕事を出す立場になったら、徳島に仕事を回してくれよ。」と激励し、留学生に対して「帰国して海外との共同事業の際にはパートナーとして日本を選んでほしい。また、母国で日本人が困っていたら力になってあげてね。」と声かけをし、送り出します。

東日本大震災の時は、元留学生から「地震のニュースを見ました。海に近いですが、大丈夫ですか?」と心配して電話をいただきました。学会や商談で来日したときは徳島まで夜行バスで会いに来てくれた元留学生もいました。

また、今まで商談会で幾度となくお会いしていましたが、受注には繋がっていなかったN社から昨年とんとん拍子に注文を頂くようになりました。N社へ納品へ伺った際、「Tです。

アルバイトでお世話になりました。今になりましたが、ご紹介させて頂きました。」と懐かしい、成長したT君に再会できました。卒業した学生から注文いただいたのは、初めての事でしたので、とても感激しました。

そのほか帰省した際には、会社に寄ってくれたり、近況報告の年賀状を毎年くれる学生もいます。それぞれの成長を見守っていけることを嬉しく思うとともに、巣立って行った学生が「アルバイトしていた天野鉄工所へ仕事を発注したい。」と言ってくれた時に恥ずかしくない会社でありたいと励んでいます。

これからも、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りながら、設備投資、技術の向上に精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



門形5面5軸加工機 オークマ MCR-B II



企業の概要

- 会社名 有限会社天野鉄工所
- 所在地 徳島市東沖洲2丁目26番地5
- 電話 (088)664-6118
- FAX (088)664-6128
- E-mail amano-6118@shirt.ocn.ne.jp
- HP <http://amano6118.web.fc2.com/>
- 代表取締役 天野 敬三
- 設立年月日 昭和59年2月14日
- 従業員数 27名
- 業種 金属加工機械用部分品・附属品製造業

【取材を通して】

取材中、天野社長が「人のつながりは大事。あらゆるニーズに応えていく。」と力強く語っておられたのがとても印象に残っています。

当日は、天野社長の奥様の多栄子様が工場内の導入機械を説明してくださり、夫婦二人三脚で様々な顧客のニーズに応える加工を縁の下から支えていることを実感しました。

天野社長、多栄子取締役さまこの度はお忙しい中、快く取材に応じてくださりありがとうございました。



組合ホットニュース

「徳島の盲導犬を育てる会」に寄付をされました。 ～ 徳島県中古自動車販売商工組合 ～

平成31年3月19日（火）、徳島市の組合会議室において、徳島県中古自動車販売商工組合と徳島県中古自動車販売店協会の2団体は、「徳島の盲導犬を育てる会」に20万円を寄付されました。平成27年10月、徳島市で警報音を鳴らさずに後進してきたダンプカーにはねられ、視覚障害者の山橋さんと連れ添っていた盲導犬が巻き添えになった事故を受け、このような悲惨な事故が二度と起きないように、徳島県では平成27年、車両に後退や接近を知らせる警報音装置の使用を義務付ける全国初の条例が制定されました。当組合では、警報装置の使用に加えて、「バックモニター」搭載を義務づける陳情等の活動をしています。

当組合は平成28年から毎年寄付を行っており、昨年12月7日に開催された「JU 徳島チャリティボウリング大会」の参加費の一部を寄附し、盲導犬の育成や視覚障害者が安心して歩ける環境づくりに役立ててもらおうとしています。



感謝状が贈呈される様子



出席者による集合写真

「子ども110番の車」に指定されました。 ～ 徳島電気工事協同組合 ～

令和元年5月9日、徳島電気工事協同組合において、「子ども110番の車」の指定式が行われました。子ども110番の車に指定されたのは、組合に所属する29事業所の営業車両94台です。指定された車は、今後、「子ども安全パトロール」の文字が記されたステッカーを貼り付け、事業活動を行いながら、子どもの見守り活動の支援を行っていきます。



「子ども110番の車」の指定式



「子ども安全パトロール」ステッカー

おめでとうございます 令和元年度 徳島県表彰

令和元年度徳島県表彰式が6月3日(月)、県庁で挙行されました。地方自治や社会福祉、保健衛生、教育、文化、産業などの分野で功績のあった61人、5団体の表彰がありました。

今回本会からの推薦により中本 ユミ子氏(柔道整復師会協同組合 専務理事)が受賞されました。



中本 ユミ子 氏
(柔道整復師会協同組合 専務理事)

他、本会会員組合から石川 雅一氏(協同組合徳島総合流通センター 副理事長)、伊原 善秀氏(三好木材センター事業協同組合 理事)、高瀬 文夫氏(徳島市中央卸売市場青果仲卸協同組合 理事長)、高畑 正明氏(徳島県豊商業組合 理事)、西野 弘行氏(阿南建設業協同組合 副理事長)の5名の方が受賞されました。



石川 雅一 氏
(協同組合徳島総合流通センター 副理事長)



伊原 善秀 氏
(三好木材センター事業協同組合 理事)



高瀬 文夫 氏
(徳島市中央卸売市場青果仲卸協同組合 理事長)



高畑 正明 氏
(徳島県豊商業組合 理事)



西野 弘行 氏
(阿南建設業協同組合 副理事長)



(順不同・敬称略)

令和元年5月

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

解体工事業や板金工事業では需要が順調。家電製品小売業においても季節商品の動きが昨年より早く好調であった様子。また自動車販売整備業でも引き続き販売台数が好調であるとの明るい報告も寄せられた。

一方、技術者不足など慢性化する労働力問題をはじめ、依然として続く原材料高や燃料価格の高止まりによる収益の圧迫に加えて、大型連休の影響による売上の伸び悩みを嘆く声が寄せられた。

景気は緩やかな回復を続けていると言われているものの、エスカレートする米中貿易摩擦や、緊迫する国際情勢等による国内外経済の下振れリスクが存在しており、先行き不透明な状況に変わりはない。県内中小企業においても、今後の景気動向を注視していく必要がある。

《製造業》

《食料品》

【味噌】前年同月比、みその生産量は97.0%、出荷量は103.9%となった。県内は減少傾向である。依然として主要原材料(米、大豆)価格は上昇傾向が続いており、収益構造を圧迫している。
【漬物】漬物製造業者では消費の低迷により毎年前年の売り上げを確保するのに四苦八苦している。生産農家では人參等の価格の暴落により前年の収益を確保するのが難しい。

《繊維・同製品》

【縫製】採用においては、幅広い対応策を講じなければならない状況が続いている。技術者不足も深刻である。売上、収益については、前倒し受注増による経費がコスト高に推移している。
【縫製】受注状況は景気低迷、長期連休の影響で90%位の受注である。本来なら、この時期は100%～120%の受注状況だが、市場の低迷で販売は低調である。現状は前倒し受注で売上を計上している状況である。

《木材・木製品》

【木材】原木丸太出材量は不需要期に入りつつあるが、多い状況が続いている。価格は欠点も出やすく、また製材製品需要が厳しいせいか、一転弱含み推移となっている。
【製材】引き合いが弱く、工場稼働は低調である。
【製材】全般的に荷動きが悪く在庫数量が増加傾向にあり、厳しい状況に変わらない。
【木材】5月の木材業界の動向は、まず徳島県内において必要な量の木材が市場に出てきていないということだ。これはすでに、平成30年度、もっと前から発生している人為的原因を基礎とする現象である。

《印刷》

【印刷】5月前半は10連休の影響で慌ただしいスタートとなった。用紙価格の高騰も価格転嫁には進んでおらず。用紙の供給不足もまだまだ続きそうである。引き続き益々厳しい状況が予想される。

【印刷】印刷用紙が年初に値上げされ、その影響もあり需要は低迷している。需要が落ち込んでいる上に、受注できても用紙が手に入るのだろうか、という心配も重なりどこも営業部門は動きが鈍い。今年度は業界内の淘汰が益々進みそうだ。

《窯業・土石製品》

【生コン】5月は昨年同月と比較して約25%程度の増加。上半期は災害復旧工事、特需工事の継続と民間工事、新規工事の需要を見込んでいたが、災害復旧工事は思うように工事が進んでおらず、新規工事の本格的な需要は下半期になる予定。
【生コン】5月の出荷数量は、対前年同月比横這いであった。要因としては、出荷数量が前年同時期と比較して、新規受注が増加される。

《鉄鋼・金属工業》

【鉄鋼】業況感に大きな変化はなく、概ね横ばい状況で推移している。

【ステンレス】国内市場は大手取引先を中心に設備投資が続いている。しかし先行きに対する不透明感が継続していることなどから、今後は企業の設備投資に対する姿勢が慎重になる可能性がある状況。

《一般機器》

【機械金属】全体として、売上高や引合いなど良好な水準を維持しており、景況感に大きな変化は見られない。

《非製造業》

《卸売業》

【食糧卸】県外から進出してきた小売店が定着し、人口減少の中、消費の分散化となっている。

《小売業》

【ショッピングセンター】売上高の前年対比は全店計97.9%、客数100.3%だった。4/24にオープンしたドラッグストアの売上高を含めての数字である。5月は新店の売上が上乗せされ客々100%を超えようと思っていたが、やはり館内での商品パッシングによる競合があり核店舗SMは93.6%と現状は厳しい。ただ来店客数は増え、活気がでてきたように思われる。
【電気機器】エアコンは動きが昨年より早く順調に売上げが伸びている。

【量小売業】大型連休明けの10日間は、荷動きが活発。

《商店街》

【徳島市】変則的なゴールデンウィークでお客様もわかりにくい部分があったが、昨年対比はオーバーした感じ。
【徳島市】5月末に衣料品店が1店閉店になった。
【阿南市】大型連休の影響により売上減。

《サービス業》

【土木建築業】平成31年度業務受注は30年度と同じ件数。業務自体は、工務課の新直轄工事の現場が主体となり、部分共用に向けて多くの工事が発注となる。

【自動車整備】登録車(普通車)の新車登録台数は対前年同月比15.4%の1,398台、中古車は2.0%の451台、合計では11.9%の1,849台であった。軽自動車の新車登録台数は対前年同月比17.3%の1,230台、中古車12.1%の548台、合計は15.6%の1,778台である。登録車・軽自動車の登録台数合計は対前年同月比13.7%の3,627台と増加。今月も過去5年間で登録車・軽自動車ともに過去最高の販売台数となった。

【旅行業】連休があったにもかかわらず、あまり動きもなく、売上増ともならず業界の状況はあまり良くないようだ。

【ビル管理】近年、取引条件がほとんど変化しない中、最低賃金の引き上げが続いている。今後、これに伴うダメージが現れてくるものと思われる。更に、働き方改革への対応、労働需給の逼迫、社会保険(厚生、健康)のあり方に関する動向等多くの課題に包まれている状況だ。

《建設業》

【建設業】国土強靱化予算の増加により、発注は多くなってきているが、人出不足等により不調・不落が懸念される。

【鉄骨・鉄筋工事業】操業度が落ちている工場も見受けられる。

【電気工事業】新設住宅口数は339件であり、対前年比79.2%と減少した。

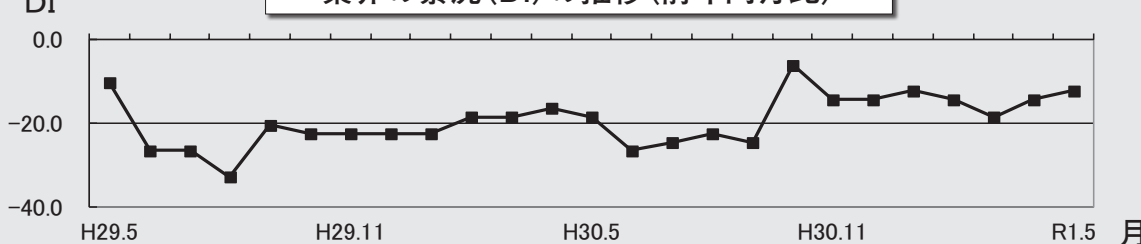
【板金工事業】仕事量は順調に続いているが、相変わらず手間不足のようだ。

《運輸業》

【貨物運送業】一般貨物輸送は、4月末からの10連休で営業日数が少なく低調に推移。軽油単価、30年度は29年度比平均で13円前後の値上りとなり、3月期決算では厳しい係数となっている。また5月は前月比横這いで推移。

【貨物運送業】連休の影響により、工場等が休業し輸送もストップしたため、多くの事業者に影響があった。燃料価格は今年に入って上昇を続けており、コストがかさんでいる。

業界の景況(DI)の推移(前年同月比)



※DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇ 令和元年度 徳島県青年中央会 通常総会 ◇

令和元年6月5日（水）、徳島市のサンシャイン徳島アネックスに於いて「令和元年度徳島県青年中央会通常総会」が開催され、平成30年度事業報告書及び収支決算書承認等の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

通常総会終了後に懇親会を開催し、来賓に徳島県商工労働観光部商工政策課課長 勝川雅史様、徳島県中小企業団体中央会会長 布川 徹様、株式会社商工組合中央金庫徳島支店次長 田村寛人様、徳島県商工会議所青年部連合会会長 田原典郎様、徳島県商工会青年部連合会副会長 松浦亘修様、徳島県立中央テクノスクール校長 芝田裕史様、三井住友海上火災保険株式会社徳島支店徳島第二支社支社長代理 伊藤知洋様のご臨席をいただき、来賓の皆様や青年部員間の交流・懇親の場となりました。



通常総会 全景



徳島県商工政策課課長 勝川雅史様



徳島県中央会会長 布川 徹様



懇親会 全景

◇ 令和元年度 全国中小企業青年中央会 通常総会 ◇

令和元年6月21日（金）、和歌山市のダイワロイネットホテル和歌山に於いて「令和元年全国中小企業青年中央会通常総会」が開催され、各提出議案が原案通り承認・決定されました。

総会終了後、UBA サミットでは全国青年中央会の役員から熊本県に対する支援金の御礼、UBA ネームプレート推進依頼等の報告がありました。報告後、各都道府県青年中央会の会長が各グループに分かれて青年中央会の取組について発表し、その取組に対して今後よりよくするためにどう進めていくべきか協議致しました。

交流懇親会では、和歌山県知事らもご臨席なさり、余興としてマグロを解体する等大いに盛り上がりました。その後、全国講習会開催地の秋田県青年中央会と次年度開催地の岡山県青年中央会のメンバーから挨拶があり、盛会裡に閉会となりました。



全国中小企業青年中央会 令和元年度 通常総会



UBA サミット



交流懇親会



次回開催地 PR

★今後のスケジュール★

- 第2回役員会（令和元年8月予定）
- 四国ブロック交流会議（令和元年9月予定）
- 商工3団体青年部勉強会（令和元年9月予定）
- 商工3団体青年部防災関係視察（令和元年11月予定 大阪府）
- 全国青年中央会 全国講習会（令和元年11月15日 秋田県）
- 四国ブロック会長会議（令和2年2月予定 高知県）



女性部コーナー

◇ とくしまレディース中央会 創立総会開催 ◇

とくしまレディース中央会が発足しました



全国中央会 専務理事 高橋晴樹様



徳島県中央会 会長 布川 徹様

令和元年6月2日（日）15時から、徳島市のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて「とくしまレディース中央会」の創立総会が開催されました。定刻開会の後、発起人を代表して、柔道整復師会協同組合 中本ユミ子専務理事より創立に際しての挨拶があり、引き続き、全国中小企業団体中央会 専務理事 高橋晴樹様、徳島県中小企業団体中央会 会長 布川徹様よりご祝辞を頂きました。

創立総会では、発起人代表の中本ユミ子専務理事が議長に選任され、会則の制定、初年度事業計画書、収支予算等が決定されるとともに、併せて以下の通り、会長、副会長などが選出されました。

会 長	柔道整復師会協同組合	中本ユミ子
副会長	有限会社天野鉄工所	天野多栄子
	公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク	川原 佳子
	有限会社インテリア井上	井上 幸代
	徳島県鉄骨構造協同組合	伊丹 恵
理 事	有限会社酒牧製作所	酒牧 美穂
監 事	美馬商事株式会社	美馬香都子
	大樹生命保険株式会社徳島支社 北島営業部	酒井 順子
		(敬称略)

創立総会終了後、創立記念講演会が開催され、フェリス女学院大学副学長・文学部日本語日本文学科教授 和歌研究者 谷知子様を講師に迎え、「“令和”にこそ詠みたい。愛と生を紡ぐうた 百人一首」をテーマにご講演頂きました。

その後、懇親会が開催され、来賓として徳島県知事 飯泉嘉門様、株式会社商工組合中央金庫徳島支店 支店長 及川晃様、他4名の皆様にご臨席頂きました。

はじめにとくしまレディース中央会 中本会長による挨拶があり、続いて来賓を代表して徳島県知事 飯泉 嘉門様よりご祝辞を頂いた後、全国中小企業団体中央会 専務理事 高橋晴樹様の乾杯の音頭により開宴となりました。会場は和やかな雰囲気の中、来賓の皆様やとくしまレディース中央会の会員間の交流・懇親の場となりました。最後に株式会社商工組合中央金庫 徳島支店長の及川晃様の三本締めにより散会となりました。



創立記念講演会 講師 谷 知子様



創立記念講演会 全景



徳島県知事 飯泉嘉門様



全国中央会 専務理事 高橋晴樹様



懇親会 全景



商工中金徳島支店長 及川 晃様

とくしまレディース中央会では、今後、研修会や視察、交流会の開催などの事業実施を通じ、女性経営者や組合女性役職員の資質向上を図るとともに、会員相互の出会いの場やビジネスチャンスの創出のために活動して参ります。引き続き会員を募集しておりますので、本会設立の趣旨をご理解頂き、ご加入下さると幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

★今後のスケジュール★

- 全国レディース中央会 通常総会（令和元年7月11日 東京都）
- レディース中央会女性部会長会議・全国フォーラム
（令和元年10月10日 神奈川県）
- 視察研修（令和元年10月予定 鳥取県）
- 新年交流会・研修会（令和2年2月予定 徳島県）



中央会トピックス

モデル組合に認定しました。 ～徳島ビルメンテナンス協同組合・鴨島電気工事協同組合～

本会では、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図るため、モデル組合認定支援事業を実施しています。

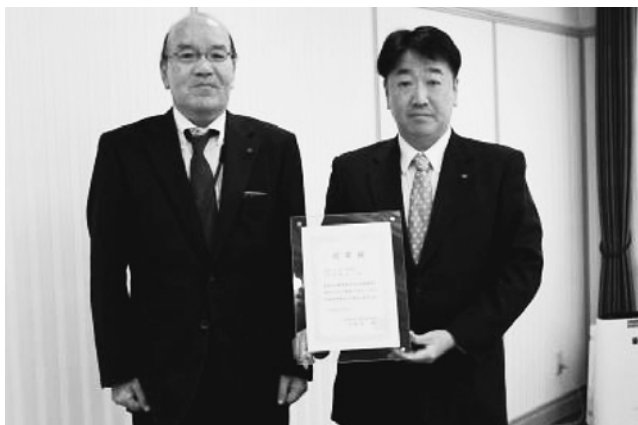
“モデル組合”の要件

本会会員組合であって、次の①～⑩のすべてを満たす組合です。

- ① 組合設立後15年以上経過していること。
- ② 組合の事業運営、組織運営が適切で、かつ財務内容が堅実であること。
- ③ 組合の事業が組合員の利用状況、事業規模の拡大状況等からみて活発に行われていること。
- ④ 専従役員が1名以上いること又はそれと同等の事務処理が可能な体制となっていること。
- ⑤ 中央会の指導を受けていること。
- ⑥ 根拠法、その他の法令に違反していないこと。
- ⑦ 定款が法令に違反していないこと。
- ⑧ 事業報告書、決算関係書類の作成方法等が法令に違反していないこと。
- ⑨ 過去3年間の決算において、連続して当期損失を計上していないこと。
- ⑩ 直近決算において、差引正味財産が出資額を下回っていないこと。

平成30年度“モデル組合”認定！

平成30年12月26日に開催しましたモデル組合認定審査委員会において、2組合（徳島ビルメンテナンス協同組合、鴨島電気工事協同組合）がモデル組合として認定され、同組合に対し、モデル組合認定証及び楯を贈呈いたしました。



徳島ビルメンテナンス協同組合



鴨島電気工事協同組合

平成30年度“モデル組合”を紹介します！

モデル組合として認定された事例を紹介しますので、事業運営や組織運営の参考にして下さい。また、本会ホームページにモデル組合事例集として掲載することとしております。

徳島ビルメンテナンス協同組合

住 所：徳島市昭和町2丁目56番地

理事長：中村 太一

設立年月日：昭和49年2月27日

主たる業種：ビルメンテナンス業・建物サービス業 組合員数：14名

〈評価されたポイント〉

- 設立から45年目を迎え、事務局体制も評価できる。
- 教育情報事業が活発であり、技術講習会等の研修を数多く企画・実施している。
防除作業従事者研修や貯水槽清掃作業従事者研修を通じて、組合員の技能養成に努めている。
- NPO法人とくしま障害者授産支援協議会と清掃講習会を実施し、障害者施設との関係構築に取り組んでいる。また、障害者の方々の就職先として組合員企業を積極的に紹介している。
- 毎年、社会奉仕活動として社会福祉施設に対し清掃ボランティア活動を行っており、今年度で39回目を迎えている。
- 大規模災害時における支援活動に関する協定を、徳島県をはじめ、四国四県や鳥取県等と結んでいる。

鴨島電気工事協同組合

住 所：吉野川市鴨島町鴨島318番地4【四国電力(株)鴨島事業所内】

理事長：後藤田 裕

設立年月日：昭和54年9月7日

主たる業種：電気工事業

組合員数：77名

〈評価されたポイント〉

- 設立後40年目であり、組合専従職員も積極的に組合事業の活性化に尽力している。
- スケールメリットを活かした福利厚生事業を幅広く行っている。
- 平成17年度より、次代を担う若手の育成のため、各種資格対策勉強会や技術講習会を開催する等、組合員の技術力の向上につながっている。
- 平成19年度より、通学路の街灯の清掃、点検ボランティアを毎年実施しており、地域貢献活動を活発に行っている。
- 吉野川市、阿波市等と「災害時における電気設備等の復旧に関する協定」を結び、地域のインフラの早期復旧体制確立に寄与している。また、平成20年5月から継続して「東南海・南海地震を想定した災害復旧訓練及び事故防止安全講習会」を開催しており、組合員の意識向上、早期復旧に向けた実習訓練も行っている。

令和元年度 通常総会開催



本会の令和元年度通常総会が、去る6月11日（火）徳島市南出来島町のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて会員233名（委任状出席含む）をはじめ多数のご来賓出席のなか開催されました。定刻開会の後、布川徹会長の挨拶に引き続き、徳島県知事 飯泉嘉門氏、四国経済産業局長 長濱裕二氏（同局産業部長 山本秀欧氏代理）、徳島市長 遠藤彰良氏（同市第二副市長 豊井泰雄氏代理）、徳島県商工会議所連合会会長 中村太一氏（徳島商工議所副会頭 阿部和英氏代理）、商工組合中央金庫徳島支店長 及川晃氏の各氏より祝辞を頂きました。



徳島県中央会 布川 徹会長



徳島県知事 飯泉嘉門様



四国経済産業局産業部長 山本秀欧様



徳島市第二副市長 豊井泰雄様



徳島商工会議所 副会頭 阿部和英様



商工組合中央金庫徳島支店長 及川 晃様

次いで、布川徹会長が議長に選任され、議案審議に入り、各議案につき慎重な審議を経てそれぞれ原案通り承認可決されました。そのうち役員の任期満了に伴う役員選挙の件では、新たに下記の方々が中央会の役員として選任されました。全ての役員方々のお名前をご紹介しますが、誌面の都合上、会長、副会長、専務理事、常任理事、監事の方のお名前を紹介させていただきます。

[会 長]	布川 徹	[徳島県木竹工業協同組合連合会]
[副 会 長]	岸 小三郎	[徳島化製事業協業組合]
	平石 元治	[ニッサングループ協同組合]
	藤川 博之	[徳島県石油卸販売協同組合]
	坂本 守	[徳島県鉄鋼協同組合] 〈新任〉
	中本ユミ子	[柔道整復師会協同組合] 〈新任〉
[専務理事]	蔭山 真応	[徳島県中小企業団体中央会]
[常任理事]	植田 滋	[徳島ステンレス工業協同組合]
	美馬 秀夫	[協同組合 徳島総合流通センター]
	多田 雅信	[徳島製材団地協同組合]
	中村 太一	[徳島ビルメンテナンス協同組合]
	富田 純弘	[徳島県製菓工業協同組合]
	川原 哲博	[協同組合徳島県建設業協会]

[常任理事]	梯 学	[徳島県中小企業振興協同組合]	
	織原 弘明	[徳島県室内装飾事業協同組合]	
	田中英太郎	[徳島県味噌工業協同組合]	
	大谷 稔	[協同組合徳島県旅行業協会]	
	多田 勇夫	[徳島県中古自動車販売商工組合]	
	佐藤 允男	[四国靴下工業組合]	〈新任〉
[監 事]	湯浅 恭平	[協同組合物流ネットワーク徳島]	〈新任〉
	遠藤 功	[徳島県食糧卸協同組合]	
	菅生 浩昭	[赤帽徳島県軽自動車運送協同組合]	
	多田 哲也	[協業組合徳島印刷センター]	

総会終了後、引き続き懇親会が行われ、布川徹新会長挨拶の後、徳島県知事 飯泉嘉門氏より挨拶があり、続いて日本政策金融公庫徳島支店長 古永義尚氏の乾杯の音頭により開宴となりました。会場は和やかな雰囲気の中で懇親が深められました。最後に商工組合中央金庫徳島支店長 及川晃氏の中締めにより散会となりました。



徳島県中央会 布川 徹会長



徳島県知事 飯泉嘉門様



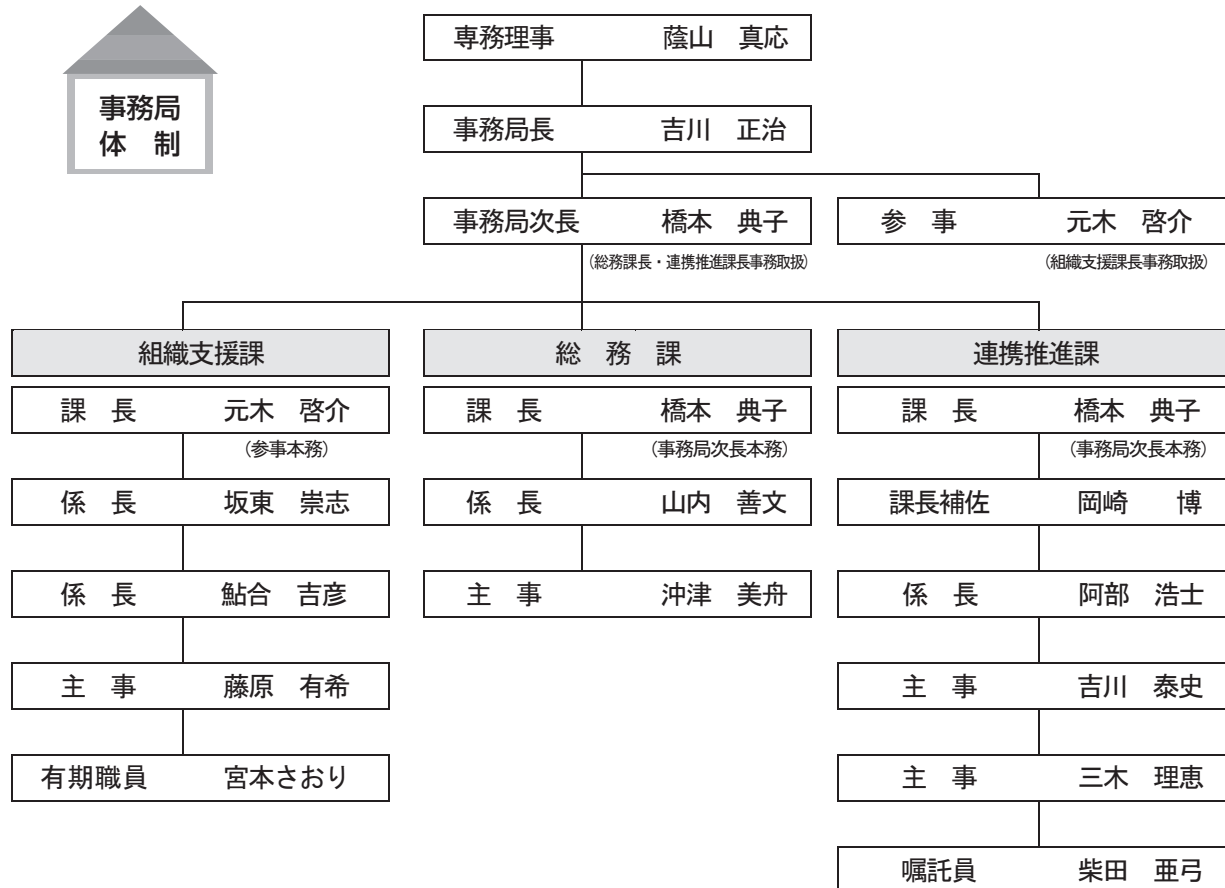
日本政策金融公庫
徳島支店長 古永義尚様



商工組合中央金庫
徳島支店長 及川 晃様

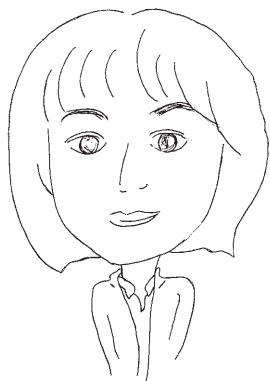
令和元年度 中央会 事務局組織・課等の主な業務

事務局
体 制



中央会新入職員の紹介

本年4月1日より、新しく中央会の職員の仲間入りをしました。
これから何かとお世話になりますが、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



沖津 美舟 総務課 主事

牡羊座 血液型B型

■趣味 読書・温泉巡り

■自分の性格：マイペース

■コメント：1日でも早く、皆様のお力になれるよう日々精進してまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

組合活性化情報令和元年度第1号から中央会事務局職員が会員の皆様に、より親しんでもらえるよう、プライベートなこと（趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事など）について、綴っていきます。第1回目は、組織支援課の坂東係長です。

坂東 崇志 [組織支援課 係長]

寅年 魚座 血液型O型／平成8年4月1日入職



私は、日本全国のお城を訪問することを趣味にしています。訪問している城は、日本100名城に認定された城で、現在訪れた城は100城のうち、95城です。今後、北陸3県の城と最後に日本初の世界遺産に登録された姫路城を訪問し、全100城の登城を達成したいと思います。

その他に趣味にしていることは、競馬です。競馬と聞くと、ギャンブルのイメージを強く感じる方が多いと思いますが、競走馬の血統、物語といったギャンブル以外の部分で競馬の魅力を感じております。テレビで競馬中継を見るだけでなく、競馬場に現地観戦に年2～3回行くことがあります。

日本100名城登城や競馬観戦に行くと、ご当地グルメを堪能しています。事前に下調べをし、時には行列に並び、レンタカーを借りて全国各地のご当地グルメを巡っています。特に最近は東京競馬場のモカソフトクリームにはまっており、1日2本食べることもあります。

ご当地グルメの食べ過ぎが災いしたのか平成8年入職当時より体重が40kg以上増加しました。健康診断を受診したところ、血液検査で、脂肪肝・糖尿病の予備群と指摘されました。現在、健康の維持改善をするため、天気が良い日には自転車通勤、土日祝日にはフィットネスで運動しております。しかしながら、なかなか効果が出ておりませんので、平日にも適度な運動や食生活の改善に取り組みたいと思っています。



2017.11.26 東京競馬場にて（第37回ジャパンカップ）

※写真の中にサブちゃんがあります。

最近、両親の入退院が続き、健康管理の大切さを強く感じています。これからも健康の維持改善に努めながら、業務に励んでいきたいと思っています。何か効果的な運動やダイエット方法など会員の皆様に御存知の方がおられましたら、是非お教え下さい。

～第2回目は、連携推進課の吉川主事です。～



お知らせコーナー

IT 導入補助金 2019 公募中です！

IT 導入補助金は、中小企業・小規模事業者等のみなさまが自社の課題やニーズに合った IT ツールを導入する経費の一部を補助することで、みなさまの業務効率化・売上アップをサポートするものです。（日々のルーティン業務を効率化させる IT ツールや情報を一元管理するクラウドシステム等、汎用的な IT ツールの導入に活用できます）

詳細な内容については HP（<https://www.it-hojo.jp/>）をご覧くださいのうえ、ぜひご活用ください。

【補助対象者】

中小企業・小規模事業者等（飲食、宿泊、卸・小売、運輸、医療、介護、保育等のサービス業の他、製造業や建設業等も対象）

補助対象経費区分	ソフトウェア費、導入関連等	
補 助 率	1/2 以内	
補助上限額・下限額	A 類型	上限額：150 万円未満 下限額：40 万円
	B 類型	上限額：450 万円 下限額：150 万円以上

ソフトウェア				
業務パッケージ（8つの業務プロセス）			効率化 パッケージ	汎用 パッケージ
① 顧客対応 販売支援	② 決済・債権債務 資金回収管理	③ 調達・供給 在庫・物流		
④ 人材配置	⑤ 業務固有プロセス （実行系）	⑥ 業務固有プロセス （支援系）	⑨ 自動化・分析	⑩ 汎用
⑦ 会計・財務 資金・経営	⑧ 総務・人事 給与・労務			

A 類型の申請条件

―― 枠内から最低 1 つ以上の業務プロセスが選択され、―― 枠内から計 2 プロセス以上が含まれる必要があります。

B 類型の申請条件

―― 枠内から 3 つ以上の業務プロセスが選択され、―― 枠内から計 5 つ以上のプロセスが含まれる必要があります。

お問い合わせ

サービス等生産性向上 IT 導入支援事業コールセンター
TEL 0570-666-131 042-303-1505

編集 後記

◆第151号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

◆特集では、「2019年版中小企業白書・小規模企業白書のポイント」「徳島県人事異動」「徳島県中央会事業の概要」について紹介させて頂きました。詳細については、中央会までお問い合わせ下さい。

◆今年度より情報誌担当になりました。組合や企業の方々を取材し、皆様のお役に立てる情報誌になるようこれから取り組んでいきますので、よろしくお願いします。

◆4月から中央会に1名の新人が入りました。爽やかな風が中央会に吹いているように思います。中央会トピックスの中で、似顔絵入りで紹介しておりますので、よろしくお願いします。

◆「とくしまレディース中央会」が6月2日に設立されました。本誌では、女性部コーナーを新たに設け、それらの活動を随時紹介していきます。ご期待下さい。

◆「中央会事務局職員十人十色」では、本会事務局職員が趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事などについて、リレーエッセーで綴っていきます。ご一読頂き、職員により親しみを持って頂きたいと思います。

vol. 01

令和元年度 第1号
(年間4回発行 通巻第151号)

組合活性化情報 中央会とくしま



大浜海岸 水彩画/布川 嘉樹